

重点施策8 人権文化の根づくまちづくりをめざし、あらゆる 差別、偏見を解消するための人権・同和教育の推進

【施策方針】

日本国憲法は、日本国民に総ての基本的人権の享有を認め、法の下に平等であることを保障している。この法の精神を人権・同和教育実践の中で養い、差別のない明るく住みよいまちづくりを推進するため、生涯学習の観点に立ち教育条件の整備と推進体制の充実、人権尊重の意識の高揚を図る啓発活動並びに人権に関する総合的な学習活動の推進に努め、人権啓発課とともに同和問題をはじめとするあらゆる人権問題解決に努める。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 市人権・同和教育研究大会の開催
- ② 人権問題学習講座の開催
- ③ 連合子ども会交流事業の充実

(2) 施策・事業の実施状況

① 市人権・同和教育研究大会の開催

2月15日(土)に、市人権・同和教育研究大会を開催した。午前中は「就学前教育、社会教育、家庭教育」、「小学校教育、行政・企業・福祉会館等」、「中学校・高等学校教育、行政、企業、福祉会館等」の三つの分科会を行い、午後は全体会として市民約800名が参加して、小・中・高校生と一般の代表による人権作文の発表後、劇団俳優座の有馬理恵氏による～差別と戦争をなくすために～「釈迦内枢唄」と題した一人芝居を行った。

② 人権問題学習講座の開催

18年度までは、2地区公民館で4回ずつ計8回開催していたが、開催地区公民館の負担軽減と参加者の固定化を防ぐため、元年度から3地区公民館で2回ずつ計6回の開催に変更し、双岩、真穴、川之石地区公民館において行った。地域の希望を取り入れ、地域の実情に応じた学習講座の開催を心がけることにより、多数の方に参加していただくことを目指して、外部講師や生涯学習課から社会教育指導員を派遣し人権問題の啓発に努めた。

③ 連合子ども会交流事業の充実

毎年、夏休みの初めに市連合子ども会交流会を開催している。この会を通して、普段顔を合わせる機会の少ない他の地区(校区)の子ども同士が、仲間意識をはぐくみ、お互いを尊重し合い、人権感覚を磨くことができている。元年度は22名の小学生が参加し、午前中は中央公民館保内別館においてゲームや工作で親睦を深め、昼食後、伊方町の室鼻公園海水プールで水泳を行い、子どもたちの交流を深めることができた。

【事務事業点検評価委員意見】

- 市人権・同和教育研究大会には、毎年多くの市民が参加し、人権・同和教育について研修を深めている。今年度も、午前中の分科会では、学校教育・社会教育の各分野から、6名の報告があった。いずれも人権の視点を明確にした具体的な報告で、研究協議も活発に行われた。
午後全体の会では、小・中・高校生による人権尊重作文の発表があったが、発表態度が非常によく、作文の内容も人権・同和教育について明るい展望のもてる素晴らしいものであった。
その後、劇団俳優座の有馬理恵さんによる「釈迦内枢唄」と題した一人芝居があった。差別を受けた経験を交えたお話も聞くことができ、部落差別解消に向けての決意を新たにすることができた。今後も、人権について深く考える機会となるような大会にしてほしい。
- 地区公民館で実施する人権問題学習講座では、主に高齢者を対象に、分かりやすく楽しい人権講座を実施している。絵や図、音楽なども活用して、飽きさせない工夫もできている。講座の内容については、質が向上しているように思う。今後も、人権啓発課との連携を深め、情報を共有し、一層充実した研修にしてほしい。
- 連合子ども会交流事業は、市内の子どもたちが共に活動しながら、思いやりや仲間意識を育む、よい機会となっている。最初は、仲間づくりのためにゲームをし、打ち解けたところで、工作や食事をして更に交流が深まっている。水泳の際には、笑顔があふれ、自然に下級生の世話をしている様子が見られた。今後も、このような交流をとおして相手を尊重する子どもたちを育ててほしい。

【自己評価】

- 市人権・同和教育研究大会は、例年1,000人近い市民が集い、人権・同和教育問題について理解を深める学習の場として非常に有意義な大会であると思っている。また、今回の有馬理恵さんによる一人芝居は、参加者からの評価も非常に高く大変好評であった。今後も幅広く意見を取り入れながら、多くの市民に参加いただける大会になるよう努めたい。
- 地区公民館での人権問題学習講座については、高齢者を主体とした分かりやすく趣向を凝らした講座の取り組みに力を注ぎ、人権啓発課、関係団体との連携を取りながら、一層の推進に努めたい。
- 連合子ども会交流事業では、午前中に親睦ゲームや工作で万華鏡を作成し、参加者全員が楽しみながら作品作りに没頭していた。また、午後からは伊方町の室鼻海水プールで水泳を行い、参加した子どもたちも学校や学年の垣根を越えて楽しんでいた。今後も関係部署と連携を取りながら子供たちの人間関係を深め仲間意識を育てるとともに、人権を大切にする意識を育てていきたい。